
KDDI Smart Mobile Safety Manager Safety Manager Agent Migration マニュアル

最終更新日 2024 年 1 月 14 日
Document ver.1.6
(Web サイト ver.9.18.0)

変更履歴

日付	ver	変更箇所	変更内容
2019/4/25	1.0		新規作成
2019/12/5	1.1	1.3 注意事項	注意事項の変更、追加
2021/2/21	1.2	2.2 Safety Manager Agent Migration の利用手順	ユーザーデータ確認画面追加
2021/7/25	1.3	目次	挿入位置修正
2022/7/24	1.4	全体	Google Play の表記を Google Play ストアに統一
2022/11/20	1.5	はじめに	全改修
		1.1 概要	従来版エージェントのサポート終了の注意追加
2023/8/6	1.6	全体	構成変更に伴う参照先の修正
		はじめに	名称・呼称、用語集を追加 商標登録修正

はじめに

本マニュアルでは、KDDI Smart Mobile Safety Manager（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解のうえ、マニュアルをお読みください。



名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。




記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
「 」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。


参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

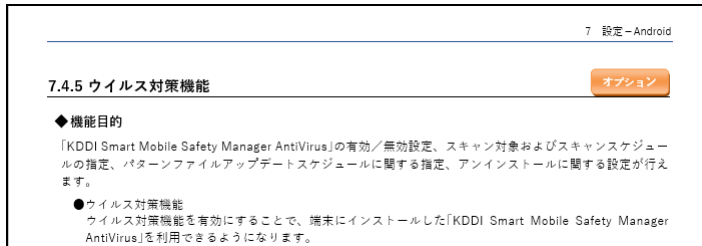
不明な用語については、『よくあるご質問（FAQ）』を参照してください。

 <https://smsmfaq.smartmanager.jp/kddiproduct/ausl/web/knowledgeList.html?keyword=%E7%94%A8%E8%AA%9E%E9%9B%86%E4%B8%80%E8%A6%A7&searchMethod=0&searchCondition=0&searchCategory=1&searchItem=1&searchTag=1>

オプション機能

オプション機能は、オプション契約をした場合に使用できる機能です。

本マニュアルでは、オプション機能の説明の見出しに **オプション**（オプションマーク）を表示しています。



免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が [管理者] のユーザーを対象としています。[管理者] 以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上的のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

商標登録

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

1 Safety Manager Agent Migration について	6
1.1 概要	7
1.2 利用条件	8
1.3 注意事項	8
2 従来版からストア版へ移行する	10
2.1 従来版アプリのアンインストールについて	11
2.2 Safety Manager Agent Migration の利用手順.....	12

1 Safety Manager Agent Migration について


1.1 概要



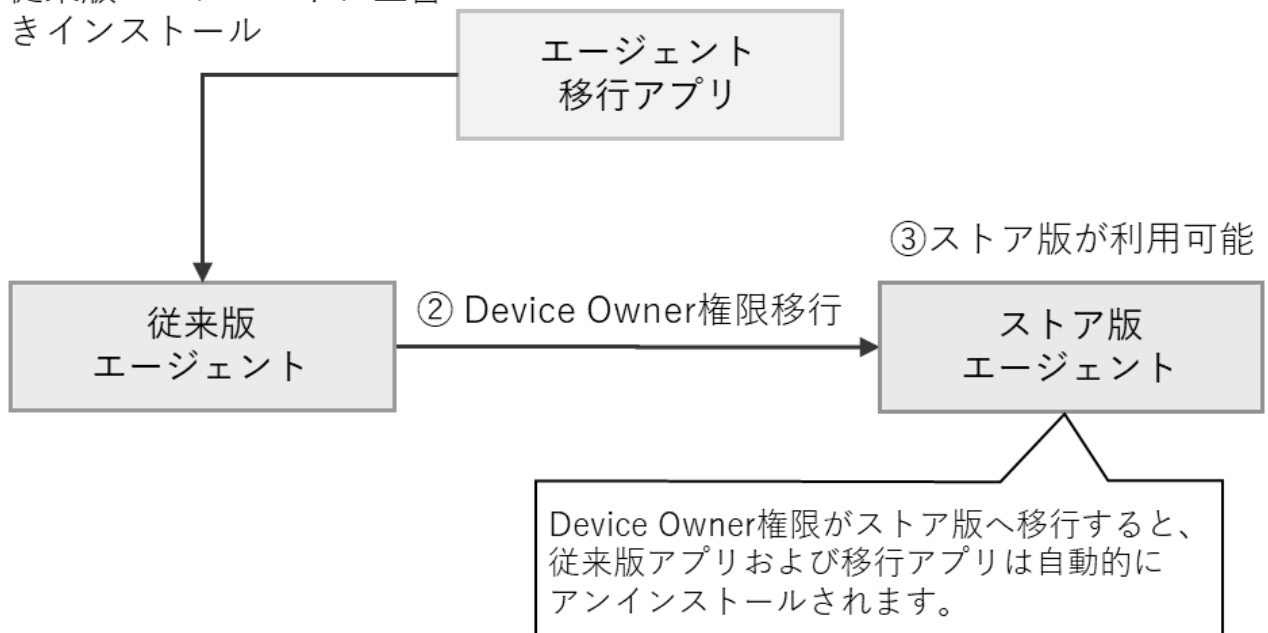
注意

- 従来版エージェントのサポートは終了したので、ストア版エージェントを利用してください。

これまで従来版エージェントを Device Owner Mode (DOM) 化し利用していたユーザーが、ストア版エージェント移行アプリを使うことで、端末の初期化を行うことなく、従来版エージェントが持つ Device Owner 権限をストア版エージェントに移行することができます。権限移行後は、ストア版エージェントが Device Owner Mode (DOM) 化され Android Enterprise の各種機能を利用することができます。Android Enterprise の詳細については、以下マニュアルを参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「アプリケーション」 - 「Android Enterprise」

- ① エージェント移行アプリを従来版エージェントに上書きインストール



1.2 利用条件

Safety Manager Agent Migration の利用条件は、以下の 2 つです。

- Android 9 に OS アップデートが可能な端末であること
 - ☑ 従来版エージェントは原則 Android 9 はサポートしていません。ただし、エージェント移行アプリを利用するためには、Android 9 へのアップデートが必要です。
 - ☑ アップデート後のバージョンが、対応端末一覧に記載されていることを事前に確認してください。
 - 📖 『Android 対応端末表』
- 従来版エージェントが Device Owner Mode 化されていること

1.3 注意事項

以下の注意事項を確認のうえ、Safety Manager Agent Migration をご利用ください。


重要な注意事項

- ☑ エージェント移行アプリは、従来版エージェントに上書きインストールされます。インストール後は、従来版エージェントに戻すことができません。
- ☑ エージェント移行アプリは、移行のみを目的とした専用アプリで、従来版エージェントが提供する機能の動作を保証するものではありません。そのため、エージェント移行アプリのインストールは、移行が必要なタイミングでのみ行ってください。また、エージェント移行アプリのインストール後は、速やかにストア版エージェントへ移行してください。
- ☑ エージェント移行アプリは、エージェントの移行を目的とした Google の API (機能) を利用しています。この機能は機種ごとの検証を行うことが難しいため、機種やその他の条件によっては正常に動作しない可能性があります。
- ☑ 試しに 1 台の端末に対して移行を行い、問題なく移行できることを事前に確認してください。そのあと、すべての端末で移行を行ってください。
- ☑ エージェント移行アプリが正しく動作しなかった場合は、端末の初期化およびストア版エージェントのキッティングが必要になります。本アプリを利用する場合、その点をあらかじめご了承ください。
 - 📖 『Android キッティングマニュアル』
- ☑ 移行完了後は、従来版エージェントおよび関連アプリは自動的にアンインストールされます。また、+browser Safety Manager へ任意で登録したブックマークは移行されません。ブックマークが必要な場合は、事前に控えておいてください。

その他注意事項

- ✔ 移行作業の前に以下の準備を行ってください。
 - 移行作業中に電源が切れないよう、端末を十分に充電してください。(移行作業は通常 5 分程度で完了します)
 - 従来版エージェントを最新版へアップデートを行ってから、移行アプリのインストールを行ってください。
- ✔ 移行後は Android Enterprise の各種機能を利用できます。移行作業の前に、Android Enterprise の利用に関する以下の注意事項を確認してください。
- ✔ 紐づけできる端末は、1 ユーザーにつき最大で 10 台までです。
 - 1 ユーザーに 11 台以上を紐づけると、機能が正常に動作しないことがあります。
 - 1 ユーザーに 11 台以上を紐づけて従来版エージェントを利用していた場合は、10 台以下へ変更してください。
- ✔ エージェント移行アプリのバージョン値は「9.3.401.0」です。エージェントのバージョンがこの値になっている端末は、エージェント移行アプリのインストールしか行われていない可能性があります。その場合は、アナニアルに従ってストア版エージェントへの移行まで完了させるよう、端末利用者に促してください。
- ✔ 移行作業中にスクリーンロックパスワードポリシーによるアプリ制限が行われていると、移行を正常に行うことができません。

管理サイトの画面ロックの設定で、パスワードポリシーの「制限を満たしていない場合にパスワードの再設定を強制する」のチェックを外して、移行作業を行ってください。詳細は以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「セキュリティ」—「画面ロック」

- ✔ 管理サイトの機能制限でカメラが禁止に設定されていると、以下の QR コードの読み取りができません。QR コードを読み取る場合は、カメラを許可に設定してください。
 - QR コードを用いて APK ファイルのダウンロード
 - ☞ 「Safety Manager Agent Migration の利用手順」手順【2】【3】
 - QR コード読み取りによる認証情報の入力
 - ☞ 「Safety Manager Agent Migration の利用手順」手順【15】
- ✔ カメラの設定については、以下を参照してください。
 - ☞ 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「セキュリティ」—「機能制限／カメラ」

2 従来版からストア版へ移行する

Safety Manager Agent Migration を利用して、従来版エージェントからストア版エージェントへ移行します。
移行すると、従来版エージェントおよび関連アプリがアンインストールされますので、移行前に確認してください。


2.1 従来版アプリのアンインストールについて

Safety Manager Agent Migration を利用して、従来版エージェントからストア版エージェントへ移行してライセンス認証したタイミングで、従来版エージェントおよび連携していた各種オプションアプリは、アンインストールされます。

ストア版エージェントで、必要に応じて関連アプリの再インストールを行います。

移行作業を行う前に、管理サイトからユーザーと機器の紐づけと、managed Google Play ストアを用いた関連アプリの配信設定を行うことを推奨します。端末利用者の手間なく、関連アプリをサイレントインストールすることができます。

詳細は以下のマニュアルを参照してください。

 『Android キットニングマニュアル』の「従来版エージェント」

アンインストールされる従来版アプリ一覧

ストア版エージェントを認証したタイミングで、以下の従来版アプリが自動でアンインストールされます。

アプリ名	パッケージ名
Safety Manager Agent Migration	jp.co.optim.bizagent
Safety Manager Recovery	jp.co.optim.bizagent.recovery
+ browser Safety Manager	jp.co.optim.browser
Safety Manager AntiVirus	com.trendmicro.tmmssuite.oemoptim
署名モジュール	jp.co.optim.bizagent.advance

2.2 Safety Manager Agent Migration の利用手順

以下の手順に従って、Safety Manager Agent Migration を利用して、ストア版エージェントの起動を行います。

- ☑ Safety Manager Agent Migration のインストールを行うには、「提供元不明のアプリ」にチェックを入れる必要があります。チェックを入れていない場合は、チェックを入れてからインストールを行ってください。端末側でチェックを入れられない場合は、管理サイトから禁止している可能性がありますので、事前に設定状況をご確認ください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定 - Android」 - 「Device Owner Mode」 - 「セキュリティ設定 (DOM)」

【1】移行対象の端末を Android 9 にバージョンアップします。

- 🔍 端末のバージョンアップの詳細については、端末ごとに異なりますので、ご利用の端末の説明書やヘルプでご確認ください。

【2】Safety Manager Agent Migration をインストールします。

以下の URL もしくは QR コードを用いて APK ファイルをダウンロードし、インストールしてください。

- ☑ 本アプリは App Manager から配信することはできません。

《ダウンロード URL》

https://smsm-get.com/SmsmAgent_MIGRATION.apk

《QR コード》



【3】ストア版エージェントをインストールします。

以下の URL もしくは QR コードを用いて APK ファイルをダウンロードし、インストールしてください。

- ☑ 本アプリは Google Play ストアからインストール可能なものと同一です。Google Play ストアからインストールを行っても移行は可能ですが、インストールを行うには Google アカウントが必要となります。

- ☑ ライセンス認証は不要です。

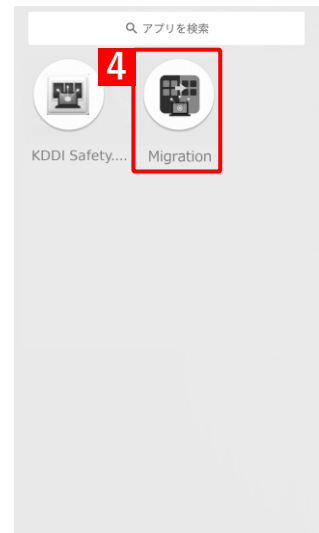
《ダウンロード URL》

https://smsm-get.com/SmsmAgent_STORE.apk

《QR コード》



- 【4】** インストールが完了すると、ホーム画面に **Safety Manager Agent Migration** のアイコンが表示されます。
【Migration】 をタップして、**Safety Manager Agent Migration** を起動します。

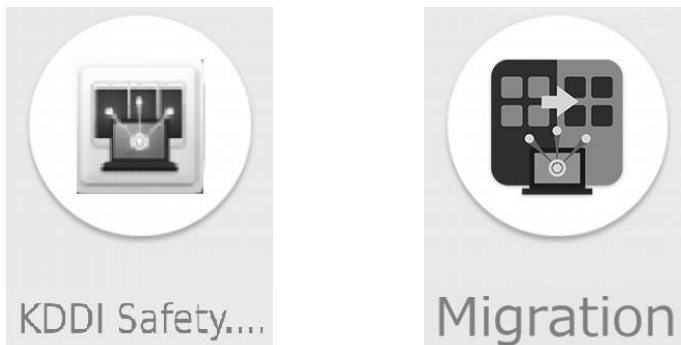


注意

誤ってストア版エージェントを起動しないよう、ご注意ください。

- ✖ スストア版エージェント [KDDI Safety Manager] はタップしない。
- ◎ Safety Manager Agent Migration [Migration] を必ずタップする。

✖ スストア版エージェント ◎ Safety Manager Agent Migration



- 【5】** メニュー画面でメニューボタンをタップし、オプションメニューから **【Safety Manager Agent Migration】** をタップします。

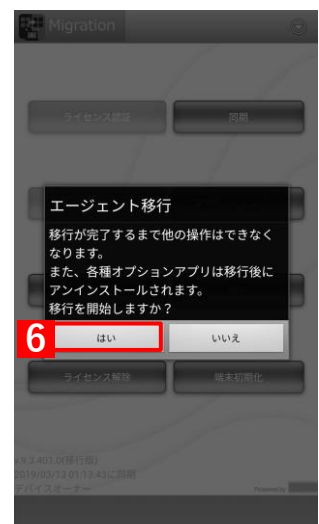
✍ (A) 「(移行版)」、(B) 「デバイスオーナー」と表示されていることを確認してください。



- 【6】** **【はい】** をタップします。

⇒ Device Owner 権限の移行が行われます。

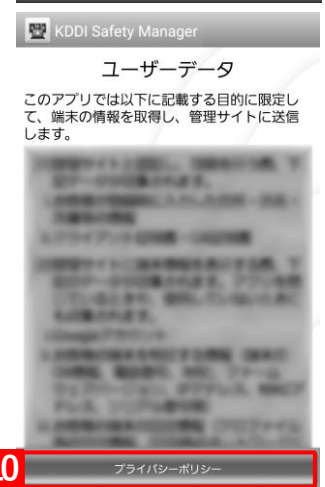
✍ 移行が完了するまで他の操作はできません。



- 【7】 ストア版エージェントが自動で起動します。
- 【8】 「利用規約に同意する」にチェックを入れます。
- 【9】 [OK] をタップします。



- 【10】 ユーザーデータについて確認して、[プライバシーポリシー] をタップします。



- 【11】 「プライバシーポリシーに同意する」にチェックを入れます。
- 【12】 [OK] をタップします。



【13】 権限を要求する画面が表示されます。画面の案内に従って設定を行ってください。

【14】 [OK] をタップします。

【15】 認証に必要な情報を入力します。

☑ 認証に必要な情報は管理者にお問い合わせください。

【16】 [送信] をタップします。

【17】 ストア版エージェントに移行が完了しました。

☑ (A) [同期] がタップできる状態になっていることを確認してください。

☑ (B) 「(Store)」と表示されていることを確認してください。

☑ Android 端末の画面ロックが解除されますので、再設定を行ってください。

☑ 管理サイトの認証日時は、ストア版エージェントで認証した時間に更新されます。

☑ 従来版アプリは、自動でアンインストールされます。

